

ダイオキシン類に係る環境調査結果(平成 21 年度) 環境省



環境省は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき平成 21 年度に国及び地方公共団体が実施した、全国の大気、水質、水底の底質及び土壌のダイオキシン類環境調査結果を取りまとめて公表しました。

平成 21 年度の各環境媒体における調査結果で環境基準超過地点数は、大気 712 地点中 0 地点(0%)、公共用水域水質 1,617 地点中 19 地点(1.1%)、公共用水域底質 1,316 地点中 6 地点(0.4%)、地下水質 608 地点中 0 地点(0%)、土壌 976 地点中 0 地点(0%)でした。

大気、地下水質、土壌においては、環境基準超過の地点はありませんでしたが、公共用水域水質及び底質では環境基準を超過した地点があり、今後も、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、ダイオキシン類の環境中への排出の低減、環境調査の適切な実施に引き続き努めるとしています。

当社では、発生源試料(排ガス、燃え殻、飛灰、排出水、廃酸、廃アルカリ、汚泥)、環境試料(一般環境大気、土壌、底質、環境水、地下水等)、作業環境、水道原水・浄水、実験試料などのダイオキシン類の分析の実績があります。

資料 2010 年 12 月 17 日付 環境省 報道発表資料

クロマト分析箇所 五月女欣央

ISO/IEC 17025(JIS Q 17025) 認定範囲の拡大が承認されました！

当社では、2007 年に(公財)日本適合性認定協会(JAB)より認定を取得している試験所認定の国際規格 ISO/IEC 17025 において、この度の拡大申請が承認され、RoHS 指令の全6物質と ELV 指令の全4物質、更には玩具の安全性規格に対して、認定を取得しました。

